

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【公開番号】特開2013-66198(P2013-66198A)

【公開日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-017

【出願番号】特願2012-242807(P2012-242807)

【国際特許分類】

H 04 L 1/00 (2006.01)

H 04 J 11/00 (2006.01)

H 03 M 13/27 (2006.01)

【F I】

H 04 L 1/00 F

H 04 J 11/00 Z

H 03 M 13/27

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つ以上のインターレースの副搬送波を、対応する副搬送波のマップされたシンボルが第1の順序でインターリープされるようにビット反転方法でインターリープすること、

前記マップされたシンボルが第2の順序でインターリープされるように一つ以上のインターレースをインターリープすること、

を含む、インターリープ方法。

【請求項2】

前記副搬送波の数が2の二乗でなければ、前記ビット逆転方法は縮小セットビット反転動作である、請求項1の方法。

【請求項3】

前記インターリープは種々のFFTサイズを有する直交周波数分割多重(OFDM)を利用している無線通信システムにおいて行われる、請求項2の方法。

【請求項4】

前記インターリープは種々のFFTサイズを有する直交周波数分割多重(OFDM)を利用している無線通信システムにおいて行われる、請求項1の方法。

【請求項5】

インターレースの数が8である、請求項1の方法。

【請求項6】

ビット反転方法で1つ以上のインターレースの副搬送波をインターリープすることはインターレース・テーブルを使用して割り当てられたスロットインデックスに従って順次線形方法で対応する副搬送波にコンステレーションシンボル・シーケンスのシンボルをマッピングすること含む、請求項1の方法。

【請求項7】

前記1つ以上のインターレースをインターリープすることはOFDMシンボル毎に生じる、請求項1の方法。

【請求項 8】

対応する副搬送波のマップされたシンボルが第1の順序でインターリープされるように1つ以上のインターレースの副搬送波をビット反転方法でインターリープし、

マップされた前記シンボルが第2の順序でインターリープされるように一つ以上のインターレースをインターリープするように構成されるプロセッサ。

【請求項 9】

種々のFFTサイズを有する直交周波数分割多重(OFDM)を利用している無線通信システムにある、請求項8のプロセッサ。

【請求項 10】

種々のFFTサイズを有する直角周波数分割多重化(OFDM)を利用しているワイヤレス通信システムのプロセッサであって：

対応する副搬送波のマップされたシンボルが第1の順序でインターリープされるように1つ以上のインターレースの副搬送波をビット反転方法でインターリープする手段と、

マップされた前記シンボルが第2の順序でインターリープされるように一つ以上のインターレースをインターリープする手段と、

を具備するプロセッサ。

【請求項 11】

ビット反転方法で1つ以上のインターレースの副搬送波をインターリープすることはインターレース・テーブルを使用して割り当てられたスロットインデックスに従って順次線形方法で対応する副搬送波にコンステレーションシンボル・シーケンスのシンボルをマッピングすること含む、請求項10のプロセッサ。

【請求項 12】

対応する副搬送波のマップされたシンボルが第1の順序でインターリープされるように1つ以上のインターレースの副搬送波をビット反転方法でインターリープすること、

前記マップされたシンボルが第2の順序でインターリープされるように一つ以上のインターレースをインターリープすること、

を含む方法をプロセッサに実行させる命令を記憶したコンピュータ読み取り可能記憶媒体。

【請求項 13】

ビット反転方法で1つ以上のインターレースの副搬送波をインターリープすることはインターレース・テーブルを使用して割り当てられたスロットインデックスに従って順次線形方法で対応する副搬送波にコンステレーションシンボル・シーケンスのシンボルをマッピングすること含む、請求項12のコンピュータ読み取り可能記憶媒体。